

「土木工事施工管理の手引き」（工事書類の簡素化編）改訂の概要

改訂の概要

現在、「土木工事施工管理の手引き」について、土木工事共通仕様書に基づく「基本版」（平成 20 年 9 月）と「工事書類の簡素化の試行について」に基づく変更箇所のみを掲載した「簡素化版」（平成 20 年 9 月）の 2 版を掲載し、現場においてはこの 2 種類を利用して工事書類の作成等を行っているが、「わかりづらい」や「みづらい」等の指摘があったため、工事書類の簡素化対象工事については、「平成 21 年度 工事書類の簡素化編」を見れば作成書類の内容がわかるように、今回改訂を行うものである。

主な改訂内容

第 1 編 総則編

1. 工事請負契約から工事完成までの流れのフローに「工事監理連絡会」を挿入した。
2. 主任（監理）技術者等で建設業法に規定されている資格を変更した。
3. 施工体制を「土木請負工事必携」より挿入し新規作成した。
4. 工事カルテを「土木請負工事必携」より挿入し JACIC のホームページを参照することとした。

第 2 編 施工管理編

1. 一般事項

- ・ 1.2 「工事書類簡素化一覧表」を「主な工事書類一覧表」として提示した。なお、請負工事契約関係提出書類も含めた一覧表とした。

2. 施工計画書

- ・ 2.3.3 施工計画書作成フローに「工事監理連絡会」を挿入した。
- ・ 2.4.2 計画工程表の作成例をネットワークのみとした。
- ・ 2.4.9 安全管理計画の内容を一部見直し、削除を行った。
- ・ 2.4.11 交通管理に過積載防止対策の具体策を追加し、作成例を削除した。

3. 設計図書の照査・工事測量の成果（着工前測量）

- ・ 3.1 設計図書の照査は九州地整「設計図書の照査ガイドライン（案）」を参照することとした。

4. 品質証明

- ・ 品質証明の対象工事に「工期が 6 ヶ月以上」を追加した。

5. 工事打合簿

- ・ 5.5 各項目の作成例を一部削除した。

6. 協議資料

- ・ 6.1 関係官公庁協議資料、6.2 近隣協議資料（工事経過記録簿）を追加した。

7. 工程管理

- ・ 作成例をネットワークのみとした。

8. 工事履行報告

- ・ 出来高算定資料を削除した。

9. 品質・出来形・写真管理

- ・ 9.1 品質管理、9.2 出来形管理、9.3 写真管理、の管理基準及び規格値は九地整ホームページを参照することとした。（管理基準）

10. 段階確認等

- ・ 指定材料の品質確認一覧及び監督職員の（確認・立会）を要する事項を追加した。

11. 安全管理

- ・ 11.2 事故報告の追加をした。

12. 再生資源

- ・ 再生資源を施工計画書より移行し、マニフェストを追加した。

13. その他

- ・ 13.1 休日・夜間作業届及び 13.2 支給品・発生品等を追加した。又、支給品・発生品の様式については国総研ホームページを参照することとした。（工事関連の様式集）
- ・ 13.4 電子納品成果物は九地整ホームページを参照することとした。（CALS/EC）
- ・ 13.5 提出書類様式は国総研ホームページを参照することとした。（工事関連の様式集）

第3編 資料編

- ・ 1.1 「工事書類の簡素化の試行について」は「土木請負工事必携」より挿入した。
- ・ 1.2 「監理技術者制度運用マニュアル」を新規追加した。

- 1.3「施工体制台帳作成のポイント」、1.4「適正な下請契約のために」は新規追加し、九地整ホームページを参照することとした。(建政部)
- 1.5～1.14、1.17 は「土木請負工事必携」より挿入した。
- 1.15「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領(案)」、1.16「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領(案)解説」及び1.18「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(案)解説」を新規追加した。